

静岡県および浜松工業技術支援センター光科の取組み

浜松工業技術支援センター 鷺坂芳弘
静岡県 新産業集積課 高木一泰

Approach of Shizuoka Prefecture and Optics Division of Hamamatsu Technical Support Center

Yoshihiro SAGISAKA and Kazuyasu TAKAKI

レーザ加工学会誌, Vol. 24, No. 3, 143-147(2017)

Keywords : laser processing, optical measurement, public research organization, local government

キーワード : レーザー加工、光計測、公設試験研究機関、地方自治体

本稿は、静岡県西部地域の光関連産業を紹介する特集号に掲載された解説記事であり、静岡県および浜松工技支援センターの光産業振興への取組みについて紹介したものである。

静岡県では光産業を県西部地域の主要産業ととらえ、長年その振興に重点を置く政策をとってきた。平成29年には、光・電子産業への参入から世界展開までを一貫支援することを目的にフotonバレーセンターを開設した。これによりイノベーション創出と地域産業の活性化を目指していく。

一方、現地での県の技術支援機関である浜松工業技術支援センターには、光産業支援のための部署とし

て光科が設立されており、レーザー加工と光計測を中心に企業への技術支援を行っている。光のみを専門的に扱う部署は全国の公設試の中でも浜松にしかなく、当センターを特徴付けるものとなっている。

光科の技術支援の内容として、技術相談の実績、光関連の設備の紹介や設備使用の方法、さらには人材育成として光産業創成大学院大学主催のレーザー中核人材育成事業に参画していることについて解説した。光科の研究としては、樹脂のレーザーカラーマーキング、樹脂のレーザー染色、透明樹脂のレーザー溶着、超短パルスレーザーピーンフォーミング、透明体内部の均質性可視化技術について紹介した。